

3月 さかなぐるーぷだより

2024. 3. 1

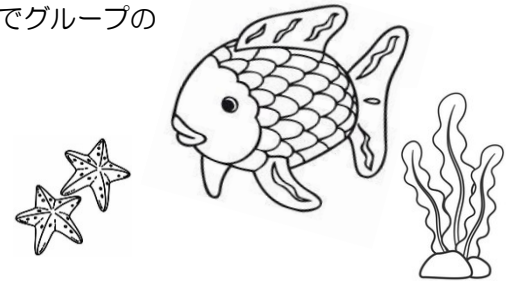
1つ大きくなったことにワクワク・ドキドキしていた4月から、もうすぐ1年が経とうとしています。お相手さんやお友だちと一緒に過ごす中で、たくさんを経験してきた子どもたち。新しいあそびに出会う度にがんばる姿を近くで見守らせてもらい、時には、悲しかったり悔しい想いを言葉にしたり、泣いて伝えてくれることもありました。また、うれしくて楽しい気持ちを笑顔で知らせてくれたり、言葉にしてくれることもありました。色々な感情をグループのみんなで共感する中で、いつの間にかお互いが安心できる存在になっていました。

このメンバーで過ごす時間はあと少しです。これまで、たくさん アイディアでグループのあそびをリードし、お手伝いをしてくれたゆりさんは1年生になります。

そして、次はばらさんがゆりさんになり、来年度へとつながっていきます。

残りの1ヶ月、みんなの大好きなにじゅうおのように一人一人がキラキラ輝きながら、大きくなることに期待をもって楽しく過ごしたいと思います。

1年間、グループの保育を支えていただきありがとうございました。



わくわくするね

お部屋では新しいあそびにチャレンジするお友だちの様子が見られます。すみれさんの中には縫いさしを始めるお友だちや、大きいお友だちと同じ赤点の目印の無い折り紙で一回折を丁寧に完成させるお友だち。さくらさんは、三枚織りや色鉛筆を使ったぬり込み。ばらさんは長い織紙に、好きな色の帯紙を使って楽しむお友だちもいます。同じ織紙でも、ゆりさんは1cmの細い帯紙を使った細かい織紙で鬼のパンツを作り、縫いさして作った顔と合わせて節分の鬼を完成させました。歌いながら楽しんで作っていたので、今にも動き出しそうなかわいい鬼たち。鬼の裏には福の神も貼り合わせてペープサートを作ってみました。いつもと違うことをしていたので、「なにつくったの?」「これはなあに?」と、ゆりさんの作品をワクワクした目で見てくれる子どもたち。せっかくなので、完成したペープサートをみんなの前で発表しました。始まる前はドキドキしていたゆりさんも、拍手をもらうとほっとした笑顔を見せてくれました。「おもしろかったね」「わたしにもできるかな」と、新しい遊びをゆりさんが教えてくれたことでばらさんの気持ちも高まりました。



おわかれ会

(ゆり)



もうすぐ1年生。卒園・就学に向けてゆりさんだけで過ごすお昼の時間に様々な準備を始めています。卒園式の歌の練習や記念品づくり、おわかれ会の歌の練習やお相手さんへのプレゼント作り…。「みんなには秘密ね」と言って取り組んでいるので、子どもたちの口から「ひみつ!」という言葉をよく聞かれるかもしれません。プレゼント作りでは、「よろこんでくれるかな?」「この色でつくろーっと!」とお相手さんのことを考えながら作っています。「そつえんするのさびしいな…」と歌いながら、涙ぐむ姿がありました。お友だち、お相手さん、先生と過ごしてきたたくさんの日々は、子どもたちにとってはかけがえのない思い出です。そんな思い出をもって、次、ひとつ大きくなって頑張るすみれさん、さくらさん、ばらさんにバトンをつなぎたいと思います。

(すみれ・さくら・ばら)

3月8日にゆりさんのおわかれ会があります。お手伝いしてくれたり、あそんだりしてくれた大好きなゆりさんにプレゼント作りと歌のプレゼントを内緒で練習しています。少し寂しい想いを抱きながらも、おわかれ会の日はみんなで過ごす楽しい思い出の時間になるようにしていきたいと思います。